

## ～あかるく なかよく たくましく～

### ○味方がそばにいるから頑張れる

先日、給食で玄米ご飯が出ました。白米の中に、薄茶色の玄米が混じっていました。A君は、白米はよく食べるのですが、玄米ご飯は食べようとしませんでした。白いご飯の中に、「薄茶色の物」が入っていることが嫌だったようです。その様子を見ていた教師が、玄米だけを取り除き、白米だけをお椀に入れ、そっとA君のそばに置きました。



皆さんは、苦手な食べ物  
はありますか？  
私は、野菜が大の苦手  
です・・・

しばらくすると、A君は、教師が取り分けた白米を食べ始めました。最後は、玄米が混ざっていても食べることができました。

また、ある日、Bさんが廊下に掲示されていた文章（写真の説明文）を指さし、早口言葉で読んでほしいという思いを、教師に伝えていました。教師は、Bさんの要求に応じて、何度も早口言葉で文字を読んでいました。Bさんは、うれしそうに声を出して笑っていました。



Bさんが「読んでほしい」と伝えていた文章です

一つの活動を終え、次の活動に取り組むことが苦手なBさんですが、この日は、早口言葉遊びを終えると、教師と一緒に次の活動に、笑顔で向かうことができました。

A君やBさんのように、子供たちは、自分のことを理解してくれ、味方をしてくれる人がそばにすることで、自分の嫌なことや苦手なことを受け止めたり、様々な活動に前向きに取り組んだりすることができるのだと思います。



### ○大人にも味方が必要です～互いの気持ちを分かり合うために～

コロナ禍となり、日常生活の在り方が大きく変わり、皆さんも、日々、様々なストレスや不安を感じることもあるのではないのでしょうか？

私は、今、大人にも自分の苦しみやしんどさなど、自分の抱える様々な気持ちを語ることでできる相手、味方が必要なのではないかと感じています。一人でそうした思いを抱え込んでしまうと、なかなか前向きになれなかったり、周囲の人のちょっとした行動にいら立ったりしてしまうなど、いつしか心が疲れてしまいます。誰かに自分の思いを語ることで、少し気持ちが楽になるかもしれません。

学校には、学級担任の他に、養護教諭、栄養教諭、寄宿舎指導員など、様々な教職員がいます。さらに、毎週、金曜日には、スクールカウンセラーの渡邊則子（わたなべのりこ）さんが来校しています。今後、渡邊さんからもお便りが発行される予定です。気楽にお話してくださいね。



（文責：小学部主事 塚田）